

番号	訂正箇所		原文(2023 年供給本)	訂正文(2024 年供給本)																																										
	ページ	行																																												
2	71	表 2・7	<table border="1"> <tr> <td>第 1 層</td> <td>物理層</td> <td>ケーブルなどで伝送されたデータを電気信号に変換するために必要な物理的規定</td> </tr> </table>	第 1 層	物理層	ケーブルなどで伝送されたデータを電気信号に変換するために必要な物理的規定	<table border="1"> <tr> <td>第 1 層</td> <td>物理層</td> <td>電気信号に変換したデータをケーブルで伝送するために必要な物理的規定</td> </tr> </table>	第 1 層	物理層	電気信号に変換したデータをケーブルで伝送するために必要な物理的規定																																				
第 1 層	物理層	ケーブルなどで伝送されたデータを電気信号に変換するために必要な物理的規定																																												
第 1 層	物理層	電気信号に変換したデータをケーブルで伝送するために必要な物理的規定																																												
3	109	表 3・26	<table border="1"> <tr> <td>東京</td> <td>品川</td> </tr> <tr> <td>=C4-B4</td> <td>18.</td> </tr> <tr> <td>=C2-B3</td> <td>0:1</td> </tr> <tr> <td>=B6/(B8*24)</td> <td></td> </tr> </table>	東京	品川	=C4-B4	18.	=C2-B3	0:1	=B6/(B8*24)		<table border="1"> <tr> <td>東京</td> <td>品川</td> </tr> <tr> <td>=C\$4-B\$4</td> <td>18.</td> </tr> <tr> <td>=C\$2-B\$3</td> <td>0:1</td> </tr> <tr> <td>=B6/(B11*24)</td> <td></td> </tr> </table>	東京	品川	=C\$4-B\$4	18.	=C\$2-B\$3	0:1	=B6/(B11*24)																											
東京	品川																																													
=C4-B4	18.																																													
=C2-B3	0:1																																													
=B6/(B8*24)																																														
東京	品川																																													
=C\$4-B\$4	18.																																													
=C\$2-B\$3	0:1																																													
=B6/(B11*24)																																														
5	150	表 4・9 側注	<p>表 4・9 代表的な変換指定子</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変換指定子</th> <th>データ型</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>%d</td> <td>int</td> <td>10 進数の整数</td> </tr> <tr> <td>%x</td> <td>int</td> <td>16 進数の整数</td> </tr> <tr> <td>%f</td> <td>float</td> <td>単精度実数</td> </tr> <tr> <td>%lf</td> <td>double</td> <td>倍精度実数</td> </tr> <tr> <td>%c</td> <td>char</td> <td>文字<sup>①</sup></td> </tr> <tr> <td>%s</td> <td>char 型配列</td> <td>文字列</td> </tr> </tbody> </table> <p>① 文字と文字列の違い 文字は 1 文字を「 」で囲んだもので、文字列は文字の並びを「 」で囲んだものである。</p>	変換指定子	データ型	説明	%d	int	10 進数の整数	%x	int	16 進数の整数	%f	float	単精度実数	%lf	double	倍精度実数	%c	char	文字 <sup>①</sup>	%s	char 型配列	文字列	<p>表 4・9 代表的な変換指定子</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>変換指定子</th> <th>データ型</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>%d</td> <td>int</td> <td>10 進数の整数</td> </tr> <tr> <td>%x</td> <td>int</td> <td>16 進数の整数</td> </tr> <tr> <td>%f</td> <td>float</td> <td>単精度実数</td> </tr> <tr> <td>%lf, %f<sup>①</sup></td> <td>double</td> <td>倍精度実数</td> </tr> <tr> <td>%c</td> <td>char</td> <td>文字<sup>②</sup></td> </tr> <tr> <td>%s</td> <td>char 型配列</td> <td>文字列</td> </tr> </tbody> </table> <p>① scanf 関数は「%lf」を使う。printf 関数は「%f」を使うが、C99 (ISO/IEC 9899 : 1999) 以降は「%lf」も使用できる。</p> <p>② 文字と文字列の違い 文字は 1 文字を「 」で囲んだもので、文字列は文字の並びを「 」で囲んだものである。</p>	変換指定子	データ型	説明	%d	int	10 進数の整数	%x	int	16 進数の整数	%f	float	単精度実数	%lf, %f <sup>①</sup>	double	倍精度実数	%c	char	文字 <sup>②</sup>	%s	char 型配列	文字列
変換指定子	データ型	説明																																												
%d	int	10 進数の整数																																												
%x	int	16 進数の整数																																												
%f	float	単精度実数																																												
%lf	double	倍精度実数																																												
%c	char	文字 <sup>①</sup>																																												
%s	char 型配列	文字列																																												
変換指定子	データ型	説明																																												
%d	int	10 進数の整数																																												
%x	int	16 進数の整数																																												
%f	float	単精度実数																																												
%lf, %f <sup>①</sup>	double	倍精度実数																																												
%c	char	文字 <sup>②</sup>																																												
%s	char 型配列	文字列																																												
6	168	2	1から5までの整数の和=15	1から5までの整数の和=15																																										
7	181	15	10   printf("結果 =%lf", r);	10   printf("結果 =%f", r);																																										

番号	訂正箇所		原文(2023年供給本)	訂正文(2024年供給本)
	ページ	行		
8	181	22-23	型として、8行目の scanf 関数と 10行目の printf 関数の変換指定子 <sup>②</sup> を「%lf」とする。	型として、8行目の scanf 関数の変換指定子 <sup>②</sup> を「%lf」、10行目の printf 関数の変換指定子を「%f」とする。
9	202	12	を出力する数の横に合わせて出力しなさい。	を、出力する数の横に合わせて出力しなさい。
11	213	問 18	printf("直角三角形の辺aを入力 >"); scanf("%f",&a); printf("直角三角形の辺bを入力 >"); scanf("%f",&b);	printf("直角三角形の辺aを入力 >"); scanf("%lf",&a); printf("直角三角形の辺bを入力 >"); scanf("%lf",&b);